

# 南郷地区まちづくり計画

Nangou area master plan

～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～



2015年4月

掛川市 南郷地区まちづくり協議会



# 南郷地区まちづくり計画 目次

■あいさつ文	1	第4章 教育文化	13
南郷地区まちづくり協議会		1 地域の課題	
会長 中村 隆哉		2 部会ビジョン	
掛川市長 松井 三郎		3 目標および具体的活動	
■第1部 基本計画		第5章 防犯防災	15
第1章 計画の目的と背景	4	1 地域の課題	
1 まちづくり計画の目的		2 部会ビジョン	
2 まちづくり計画の背景		3 目標および具体的活動	
第2章 まちづくりの理念	5	第6章 交通安全	17
1 まちづくりの理念		1 地域の課題	
2 ビジョン（目標・将来像）		2 部会ビジョン	
3 計画の実現に向けて		3 目標および具体的活動	
■第2部 分野別計画		第7章 環境美化	18
第1章 企画運営	9	1 地域の課題	
1 地域の課題		2 部会ビジョン	
2 部会ビジョン		3 目標および具体的活動	
3 目標および具体的活動		第8章 計画の実現に向けて	19
第2章 地域振興	10	参考資料	
1 地域の課題		1 「南郷地区まちづくりアンケート」集計結果	22
2 部会ビジョン		2 南郷地区まちづくり協議会の設立経過	
3 目標および具体的活動		3 南郷地区まちづくり協議会設立準備委員会名簿	
第3章 健康福祉	12	4 南郷地区まちづくり協議会組織図	
1 地域の課題		5 施策体系図～ビジョンと実践目標～	
2 部会ビジョン			
3 目標および具体的活動			





## 地区の未来を拓く 協働のまちづくりを目指して

南郷地区まちづくり協議会

会長 中村 隆 哉

梅の香も芳しい二月の佳日に、南郷地区まちづくり協議会の設立と、体系的なまちづくり計画書が完成し、望外の喜びであります。これも、偏に世話人会から準備委員会まで、ご尽力をいただきました皆さまのおかげと、あらためてお礼申し上げます。

南郷地区はこれまで、南郷地区は一つの合言葉の下、「住んでいることに幸せを感じられる南郷地区」を地区ビジョンとして、事業運営を図ってまいりました。

平成25年4月に掛川市自治基本条例が施行され、協働のまちづくりがスタートしましたが、南郷地区はそれに先駆け地区運営をしてきたといえます。

自治基本条例は、掛川市におけるまちづくりの最高規範として、①地域のことは、地域が主体的に考え決める住民自治の実現、②少子高齢化の進展に対処するための、みんなで支え合う社会の構築、③多様化する市民ニーズに対応できる協働のしくみづくりを基本とするものであります。

基本条例の前文には、「これからの時代、私たち市民に求められることは、自ら行動することや互いに信頼し、役立ち合うことです。これらがうまくかみあい機能して初めて、市民主体による協働のまちづくりが進展します。これは、市民自らの意志でまちづくりに参加し、市とともにみんなで支え合う新しい公共社会への発展にほかなりません。」と明記されています。

また、第5章協働によるまちづくり第24条の第2項では、「地区は、まちづくりに関する計画を策定し、その区域内における公共的課題について調整を行い、解決を図るとともに、市と連携を図りながら、まちづくりを総合的に推進するものとする。」と規定されています。

南郷地区まちづくり協議会は、そのための地域活動の仕組みとして重要な役割を担うものです。これまでの組織や団体の活動は活かしつつ、地域の総意を反映し、自らの地域の将来の姿を自ら決め行動していくための、地域コミュニティの新しい仕組みであり、住民自治活動の歴史に記念すべき新たな1ページを刻むこととなります。

活動は、亀の歩みとしながらも、着実に地区の未来に繋がるまちづくりを、全区民の皆さまと意思を一つにし、手を携え合って進めていきましょう。





## まちづくりの担い手として期待

掛川市長 松井 三郎

南郷地区まちづくり協議会が設立され、また、地域づくりの柱となる南郷地区まちづくり計画が策定されましたことに、心よりお祝い申し上げます。

また、協働のまちづくりを推進するモデル地区のひとつであります南郷地区の住民のみなさんが、自らの地域をさらに良い地域にしていこうと、協議会の設立とまちづくり計画の策定に向けて熱心に取り組まれたことに深く敬意を表すとともに、感謝申し上げます。

さて、掛川市では、平成25年4月に自治基本条例を施行し、市民と市がともに支え合う協働のまちづくりを進めています。

自治基本条例の前文にもありますとおり、超高齢社会や人口減少、合併による行政サービスの 변화、市民ニーズの多様化など、市民生活を取り巻く環境は大きく変化しており、この変化は、これからますます進んでいくものと思われます。このような社会背景におけるこれからのまちづくりのポイントは、これまで行政が主導で進めてきたまちづくりの手法を、市民の主体的な意思と行動に基づく、市民力を生かした、市民主体のまちづくりの手法に変え、市民と市がともに公共サービスを担う協働社会の仕組みを構築していくことにあります。

この社会を実現するためには、地域のことを一番よく理解し、郷土愛を持つ住民のみなさん自身が、地域づくりを自らのこととして考え、決めることができる仕組みを確立していく必要がありますが、その具体的な仕組みとなるのが、地区まちづくり協議会であり、地区まちづくり計画であると考えています。

協議会が設立され、さらに、計画が策定された貴地区におかれましては、地域のことはまず地域が考え、行動し、地域だけでできないことは市も一緒に行うといった、補完性の原則に基づくまちづくりが今後加速し、そのことによって、気概のある住民がさらに生まれ、誰もが幸せや生きがいを実感することのできる活力ある地域社会が創造されていくことと確信しています。

報徳と生涯学習によって培われてきた市民力の高い掛川市だからこそ、市民と市が支え合う協働のまちづくりを進めることができます。自治基本条例を制定し、さらに進化した協働のまちづくりはまだスタートしたばかりですが、いち早く新しい仕組みに取り組んできた南郷地区まちづくり協議会が、地域住民の知恵や知識、行動力を生かして、市内全地区のモデル地区としてますます発展し、市とともにまちづくりを担う主体として、さらにご活躍いただくことをご期待申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



# 第1部 基本計画

---

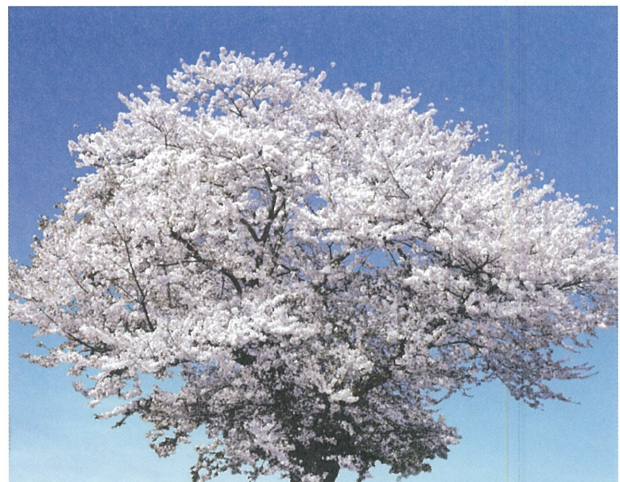
## 第1部 基本計画

### 第1章 計画の目的と背景

- 1 まちづくり計画の目的
- 2 まちづくり計画の背景

### 第2章 まちづくりの理念

- 1 まちづくりの理念
- 2 ビジョン（目標・将来像）
- 3 計画の実現に向けて

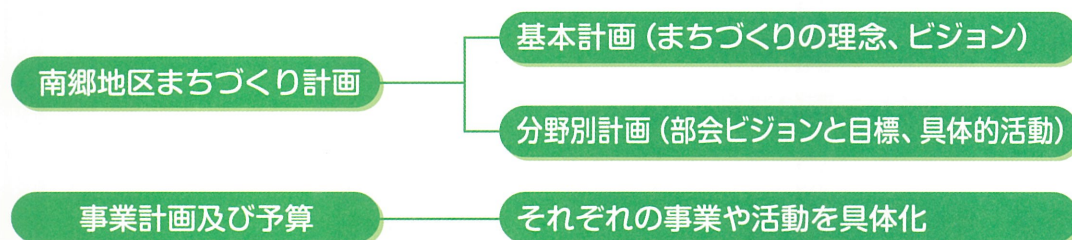


旧学習センター北側の桜



### ①まちづくり計画の目的

南郷地区まちづくり協議会が策定する「まちづくり計画」は、私たち地域住民が主体となって、市と連携しながら行う南郷地区の、まちづくりに向けた基本的な指針となるものであり、地区のまちづくりにかかる行動計画として位置づけられるものです。本計画は、基本計画と分野別計画で構成されており、基本計画では基本となるべきまちづくりの理念とビジョンなどを設定し、分野別計画ではそれぞれの課題と目標、施策や具体的活動内容などを設定するほか、計画実現に向けて心掛けるべき事項などを示しています。

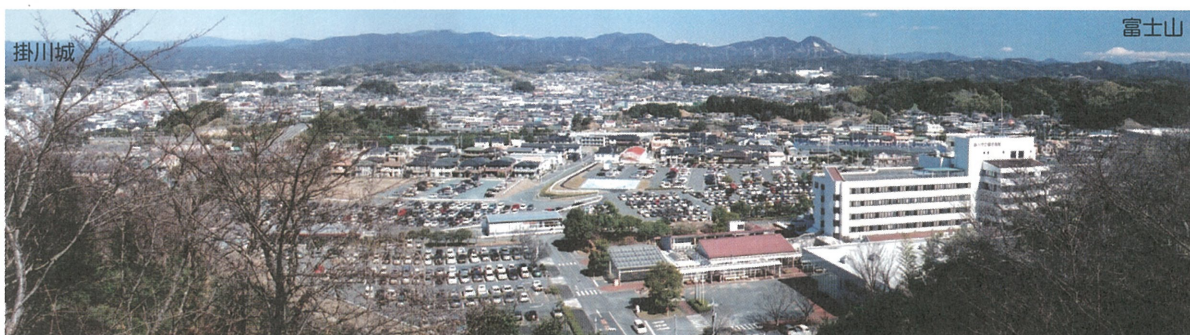


まちづくり計画の計画期間を概ね10年間に設定するとともに、約5年後には必要に応じて見直し作業を行うこととします。また、具体的には毎年策定する各年度の事業計画及び予算において実施内容などを示していくこととします。

### ②まちづくり計画の背景

南郷地区は掛川市のほぼ中央、JR掛川駅の南東に位置し、地区の北側は東海道線・東海道新幹線が並行して走り、南側には東名高速道路掛川ICが地区のほぼ中央にあり、かつては水田と茶畑に囲まれた、のどかな農村地帯でした。その後、区画整理等が行われ、これまであった水田は宅地へと変貌し平成26年4月1日現在の8自治区における外国人を含む世帯数は2,263戸（一般住宅42.4%、集合住宅57.6%）、人口5,560人の地区へと発展しました。

地区の南側には、陣馬峠の古戦場があり掛川市内を一望することができ、遠く富士山や南アルプスの一角、火防の秋葉山や北遠の名峰竜頭山を望むことができる風光明媚な地区でもあります。地区内には、静岡県立掛川工業高等学校や掛川税務署等の公共施設がありますが、平成27年春には、旧掛川市立総合病院の跡地約8ヘクタールに、医療・介護・福祉・保健・教育の各施設が希望の丘と命名しグラウンドオープンします。一つのエリアに、こうした多様な施設がまとまり、事業展開が図られる



陣馬峠からの南郷地区（右下は旧市立病院）

のは、全国的にも初の試みであり注目され期待されています。

南郷地区の歴史は、南郷歴史クラブ編纂による郷土誌「南郷」に詳述されていますが、南郷村の名称が初めて歴史に登場するのは、明治21年に町村制が公布され、県が告示した時とされています。また、同誌の巻頭で「ここを郷土とする人達の生活も、世相の変化と同様に変わったが、心の中には祖先の営みが刻み込まれている。その沿革と歴史が、そこに住む人と結びついて郷土の温かみとなり深みとなって、さらに郷土への愛情も生まれ育まれる」とあり、その精神は受け継がれ平成24年春に新設された南郷地域生涯学習センターを拠点として、さまざまな活動が活発に展開されています。



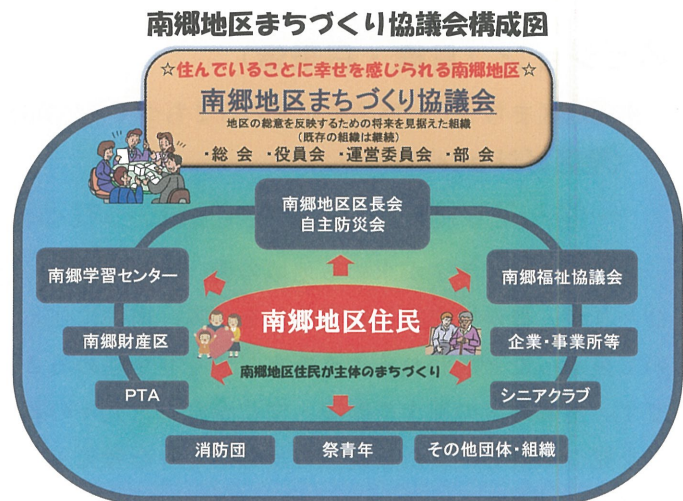
南郷地域生涯学習センター

南郷地区の歴史を語るとき、忘れてはならない郷土の偉人がいます。それは、静岡県議会議員を2期、衆議院議員を3期歴任し、東海道本線の掛川への誘致や南郷尋常小学校を設立した河井重蔵翁と、その御子息である宮内省の侍従次長や参議院議長を務めた河井弥八氏であります。河井弥八氏の足跡は、同氏の邸宅跡に建てられた南郷地域生涯学習センターの敷地内に、同氏のお蔵を改造した河井弥八記念館として保存、展示されています。

南郷地区まちづくり協議会は、平成25年4月に掛川市自治基本条例が施行され、協働のまちづくりのスタートに合わせ、掛川市から指定された三つのモデル地区の一つとして、平成27年2月14日に設立しました。

南郷地区には、これまで区長会、学習センター、地区福祉協議会の三大組織を中心に様々な活動が行われてきましたが、これからは地域でできることは地域のことをいちばん良く知っている地域の人が、様々な組織・団体・企業等と協働して、地区のまちづくりを進めます。

ここに、地区の将来を見据え、地域の課題を把握して、様々な対策を講じ、区民が望むまちづくりを進めるため、南郷地区まちづくり計画を策定することとしました。



## 第2章 まちづくりの理念

### まちづくりの理念、ビジョン

#### ①まちづくりの理念

南郷地区まちづくり協議会が進めるまちづくりに向けて、次の理念を設定しました。

##### 温もりのあるまち

核家族化の進展が少子高齢化に拍車を掛け、他人を思いやるところが希薄化しています。人は、一人では生きていけません。物は豊かでなくても、話す場があり話す人がいれば、日々満ち足りた生活



を送ることができます。人の幸せとは何か。それは人々が健康でお互いを思いやり、役立ち合い支え合って、自らの存在を感じながら生きることではないでしょうか。自分が幸せでありたいと願えば、他人も幸せでなければなりません。そのために尽くすことが、そのまま自分の幸せにつながるからです。

協議会では、住民が幸せを感じ、住んでいて良かったと思える地域を目指して、住民相互の絆を深め、住民一人ひとりの力が活きる様々な事業を進めていきます。

### 減災力のあるまち

南郷地区の宅地は、約6割強が軟弱地盤です。科学的見地から、震度7クラスの東海・東南海・南海地震の起こる確率は限りなく高く、尊い人命を守る上からも大地震への減災対策が必要です。また、安全で安心した生活を送るためには、交通事故を起こさない・交通事故に遭わないための取り組みや、防犯意識の向上も図らなければなりません。人は、安全・安心な地域環境があって、はじめて幸せを実感することができます。協議会では、安全・安心なまちづくりを最優先に考え、様々な事業を進めていきます。

### 美しさのあるまち

私たちは、日常のさりげない風景の中にある、一輪の花に感動を覚えます。美しい景観は、人のところにやすらぎを与え、慈しみのところを育みます。それは、大自然にかぎらず、人工的な景観であっても同様です。協議会では、住民の全てが思いを一つにし、美しい景観の保全と環境の改善・維持・管理を進めていきます。

## ②ビジョン（目標・将来像）

南郷地区まちづくり協議会が進めるまちづくりに向けて、次のビジョンを設定しました。

### 〈地区ビジョン〉

#### ～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～

地域コミュニティが求める地域の姿、それは住民一人ひとりが、豊かで充実した暮らしを営み、南郷に住んでいて良かったと思われるようなまちづくりを進めることです。南郷地区の風土や歴史・文化が育んだ人々の暮らしを見つめ直し、新たな視点でまちづくりを考えていきます。

### 〈部会ビジョン〉

私たちは、地区ビジョンを達成するために、分野別の7つの各部会がそれぞれの部会ビジョンを策定してまちづくり計画を立て、具体的な事業を推進していきます。



河井弥八記念館

### 絆と生きがいづくりのまち南郷

私たちは、日々楽しく有意義な生活をおくるためには、生きがいを持って周りの人と支え合っていかなければなりません。そのためには、強い絆が必要です。様々な場と機会をとらえ、絆づくりを進めていきます。

### あいさつと笑顔が溢れるまち南郷

住んでいることに幸せを感じる時、それは、人情の温かさに触れ、人と共に自らも活かし活かされ

ていると感じる時ではないでしょうか。一日のはじまり、それは元気で明るいあいさつから始まります。明るいあいさつと、笑顔があふれるまち、なんとなく楽しいと思いませんか。これから、皆で明るく楽しいまちをつくり上げていきます。

### 健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷

人間にとって健康は、全ての源です。人の高齢化は、避けられませんが、それぞれのライフステージで、お互いが役立ち合い支え合うことで、生きがいも生まれ、希望も生まれます。高齢化が進む社会、それは世代を越えて支え合う必要があります。私たちは、そのためのまちづくりを進めていきます。

### 学び高め合い伝え合うまち南郷

まちづくりは、人づくりでもあります。地域の歴史や文化は、ひもとき学んで次世代に引き継ぐ責務があります。郷土を愛する子どもたちを、地域で育てていくことが必要です。人生の豊かな経験と、豊富な知識・洞察力を持った大人たちの出番です。南郷地区の明るい未来につづくまちづくりを、みんなで作って上げていきます。

### 安全・安心で住みよいまち南郷

安全で安心な生活空間が保たれてこそ、住みよいまちづくりが実現できます。犯罪を未然に防ぐ取り組みと、被害を最小限に抑える減災への取り組みは、南郷地区の最大の課題です。災害から尊い命を守るためには、災害が起こってからでの取り組みよりも、災害が起る前の減災への取り組みが、より効果があります。向こう三軒両隣の強い絆づくりと、家屋の耐震化・家具の固定化等、減災への取り組みを進めていきます。

### 無事故・無違反で明るいまち南郷

交通安全は、全ての人の願いです。交通事故に遭わない、起さないための取り組みを進め、明るく住みよい南郷地区をつくり上げていきます。

### 美しい環境の安らぎのあるまち南郷

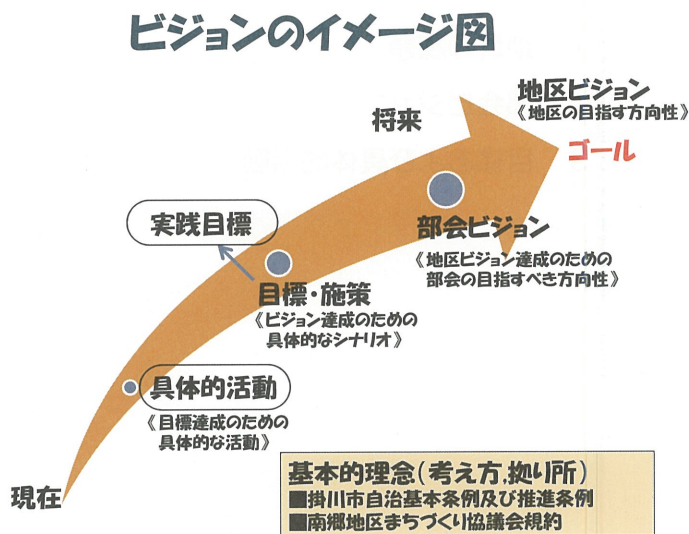
思いやりとやさしいところは、美しい環境の中で育まれます。住民の知恵と工夫で、安らぎのあるまちをつくり上げていきます。



陣場峠 看板

## ③計画の実現に向けて

この地区まちづくり計画は、多くの地域住民の意見や組織・団体の参画を得て、まちづくりを進める協議会自らのルールとして策定しました。計画の実現に向けては、さらなる住民の皆様の参画と協力を得て、南郷地区のまちづくりビジョン達成のため、遅くとも着実な活動を進めることにより、次世代に引き継いでいきます。





## 第2部 分野別計画

---

### 第2部 分野別計画

#### 第1章 企画運営

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第2章 地域振興

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第3章 健康福祉

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第4章 教育文化

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第5章 防犯防災

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第6章 交通安全

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第7章 環境美化

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

#### 第8章 計画の実現に向けて

### ①地域の課題

南郷地区ではこれまで、区長会、学習センター、福祉協議会がそれぞれの課題解決にあたってきました。この度発足した南郷地区まちづくり協議会は、南郷の良い点をさらに伸ばし、地域の抱える課題を的確に把握し解決していくことが求められます。そのためには、南郷地区の状況や情報が素早く行き渡り、七つの各部会が互いに機能し合って活動を進めていかなければなりません。

企画運営部は、各部会との連携を図りながら協議会のスムーズな運営に努めていきます。そのためには、様々な実態を把握し、長期的視野に立って施策を推進させる必要があります。さらに、まちづくり協議会に進んで参画する人材の掘り起こしや人づくりも大事な課題です。

### ②部会ビジョン

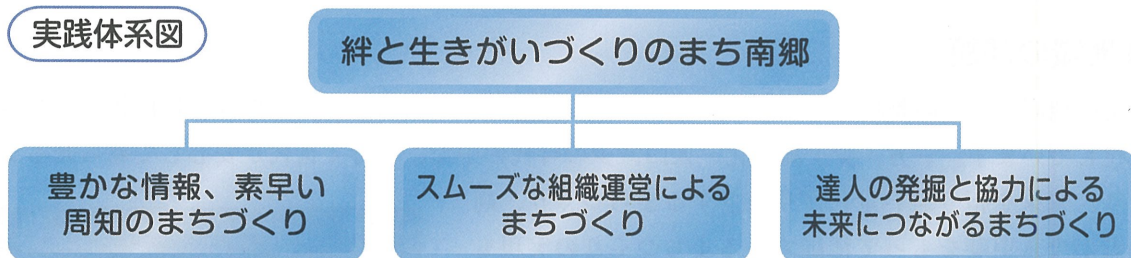
#### ～絆と生きがいづくりのまち南郷～

絆と生きがいは、地域を守り発展させる大切なキーワードです。南郷地区は一部農業の世帯もありますが、多くがサラリーマン世帯で最近が高齢化も進み年金生活者が増えてきました。ともすると人間関係が希薄になりがちです。こうした中で地域の多様なニーズに応え、地域をまとめるためには「絆と生きがいづくり」がまちづくりの原点です。地域の情報を的確に把握し共有して、災害にも強い絆をつくることを目指します。そのためには、まちづくり協議会の組織が中心となり、住民の声や各部の要望を反映した組織運営が求められます。



掛川駅南祭典

「組織は人なり」のことばのとおり、活動がどのように行われるかは、人にかかっています。一人ひとりが地域社会の一員として、楽しく、いきいきと、生きがいを持って暮らしていくことが大切です。



### ③目標及び具体的活動

#### 豊かな情報、素早い周知のまちづくり

地域住民が、「まちづくり」のねらいや、住みよいまちづくりに様々な分野で活動している取り組みの様子を知ることは、小さな力であっても自らも参加しようという意欲につながります。また、南



郷地区の一体感を醸成するために、福祉協議会と学習センターでそれぞれ発行していた情報誌を「ふれあい南郷」に統合し効率化と内容の充実を図ります。さらに、南郷地区まちづくり協議会のホームページを立ち上げ周知の幅を広めていきます。

《具体的活動》

- ①広報誌「ふれあい南郷」の発行
- ②人材を強化し「ふれあい南郷」の内容充実
- ③緊急性の高い情報は、随時「まちづくりかわら版」を発行



### スムーズな組織運営によるまちづくり

まちづくり協議会の組織がスムーズに運営できるために、企画運営部は各部会との連携を図りながら、協力し合って機能するようサポートしていかなければなりません。まちづくりについての理解を深めたり、必要に応じて勉強会や講演会を企画し、さらに先進地視察等を計画して、より確かなまちづくりを目指します。

《具体的活動》

- ①まちづくり協議会各部会との連携強化
- ②まちづくりについての学習会や講演会の企画
- ③先進地研究や自己研鑽

### 達人の発掘と協力による未来につながるまちづくり

「組織は人なり」と言われます。自分たちのまちを住みよいまちにするために、生きがいをもって関わる人を増やしていくことが大切です。人材の発掘はまちづくり協議会の大きな使命の一つです。豊かな知識と経験を持つ人（達人）を人材バンクに登録し、適材適所での活躍を期待します。

《具体的活動》

- ①人材バンクの設置
- ②まちづくり活動への参加者拡大のためのPR活動

## 第2章 地域振興

### あいさつと笑顔が溢れるまち南郷

#### ①地域の課題

南郷地区は、区画整理による宅地開発で大きく発展をし、人口も大幅に増加し住民相互の意識も希薄化しています。一方、少子高齢化・人口減少の時代の中で、子育て世代が安心して暮らせるまちづくり、未来を担う若い世代がリードするまちづくり、高齢者が生き甲斐をもって活躍できるまちづくりの実現も課題です。

#### ②部会ビジョン

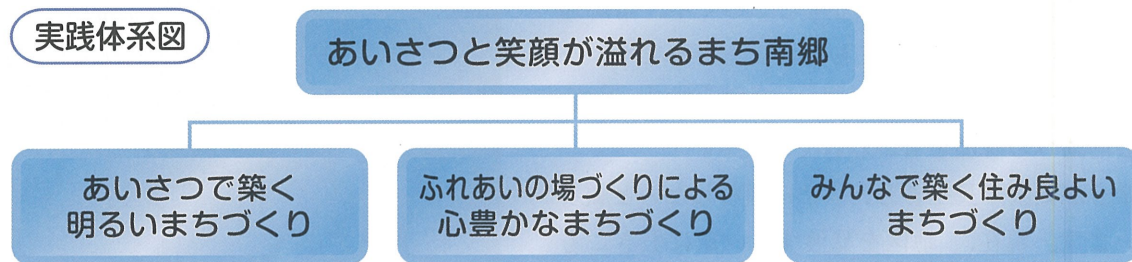
##### ～あいさつと笑顔が溢れるまち南郷～

地域振興の活性化は、一人ひとりが、自ら地域に関わ



新年の集い

り、地域を考え、多くの住民と会話を交わす中から実現します。地域コミュニティを築くはじまりはあいさつであり、「あいさつの声かけ運動」を通じて、住民どうしの交流の輪を広げていきます。さらに、多くの住民が参加したいと思える場や、ニーズに合わせたふれあいの場をつくり、心豊かなまちづくりを目指します。



### ③ 目標及び具体的活動

#### あいさつで築く明るいまちづくり

地域を心豊かなまちにするためには、一人ひとりが地域と地域住民に関心を持ち、笑顔で会話を始めることから生まれます。その第一歩はあいさつであり、子どもから大人まで、誰にも気持ちよくあいさつができるよう、「あいさつの声かけ運動」で明るいまちづくりを目指します。見知らぬ人もこちらからあいさつをします。

《具体的活動》

- ① あいさつの先取り
- ② 登下校の小中学校生にあいさつの積極的な声かけ

#### ふれあいの場づくりによる心豊かなまちづくり

多くの住民が、進んで地域活動に参加し、楽しく過ごしたり、元気に活躍する場を作ることによって、生きがいを感じられる心豊かな地域を目指します。特に、子どもたちや子育て世代が家族ぐるみで参加でき、女性や若い世代の人たちにも魅力ある場をみんなで作ります。

《具体的活動》

- ① 新年の集い、餅つき大会
- ② 子ども・女性や若い世代の人たちによるイベントの企画立案



ふれあい餅つき大会

#### みんなで築く住みよいまちづくり

南郷地区は交通の利便性は高いものの、商業施設や公共施設が十分とは言えず、さらに障害者や高齢者にとっての配慮も十分とは言えず、不便さを感じています。このため住みよいまちづくりのための小委員会を設置し、議論を深めます。

《具体的活動》

- ① 小委員会の設置
- ② ユニバーサルデザインの理解と推進



#### ①地域の課題

社会の高齢化が急速に加速していく中、南郷地区では、「健康長寿で役立ち合い支え合うまち」を目指します。健康長寿の秘訣は、適切な運動、栄養、社会活動への参加ともいわれています。

誰もが健康で長生きし、幸せに暮らしたいと願っています。現在、地区を見渡すと、家に引きこもりがちの人、友だちもなく寂しい思いをしている人、運動不足で健康に問題を抱えている人などが見られます。

また、アンケートによると、高齢者になっても住みよいまちであってほしい、高齢者同士の交流の場を多くしてほしいという願いも見られます。宅地開発により他地区からの転入者が多いことから、交流の場づくりが重要となっています。

一人ひとりが健康に心掛けることはもちろんですが、住民同士役立ち合い支え合って、心と体の健康づくりに取り組めるような仕組みづくりが必要です。



高齢者サロン

#### ②部会ビジョン

##### ～健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷～

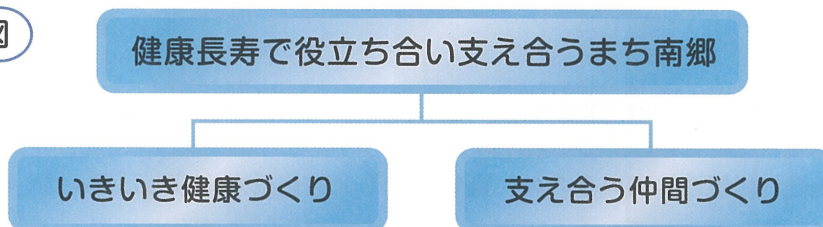
住民それぞれが、地域社会の一員として、健康で楽しく、いきいきと生きがいをもって暮らしていきたいと願っています。その意味では、支える側、支えられる側という視点ではなく、互いに役立ち合い支え合う活動を行う、という視点が大切です。

温かな思いを寄せ合い助け合い、年齢や男女などの区別なく共に活動し、安心して元気に暮らせる福祉のまちを目指します。



ミニディサービス

#### 実践体系図



#### ③目標及び具体的活動

##### いきいき健康づくり

住民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと心身とも健やかに暮らせるよう交流の場をつく

り、健康維持や食生活改善を目指します。引きこもりがちな高齢者にも集まってもらえるよう、楽しかった、友だちができた、一人きりでいるより思い切って参加してよかったと実感できる交流の場をつくります。

《具体的活動》

- ①いきいき健康サロンの実施
- ②健康維持・食生活改善の啓発活動の実施
- ③誰でも親しめるスポーツの普及と促進（歩け歩け運動・ユニカールなど）

### 支え合う仲間づくり

家族の姿の多様化等によって、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、ひとり親世帯、障がい者世帯等、生活上気にかかる家庭が増加しています。こうした人達を見守ったり、手をさしのべたりすることのできるのが地域社会です。誰もが、安心して暮らすことのできる地域社会実現のための仕組み作りに取り組みます。

《具体的活動》

- ①高齢者等気にかかる家庭への声かけ・見守り・生活支援
- ②福祉なんでも相談の開催
- ③希望の丘との交流



歩け歩け運動



高齢者・障がい者に優しいバリアフリー調査

## 第4章 教育文化

### 学び高め合い伝え合うまち南郷

#### ①地域の課題

南郷地区の発展のためには、将来を担う子どもたちや若者たちが南郷を愛し、この南郷にずっと住みたいという大人に成長していくことと、大人も地域のことを学ぶことが大切です。

そのために、子どもたちには地域を愛する環境づくりが必要であり、大人も常にこのことを考え、勉強し自らも成長していくことが必要です。そして、常に世代間交流の場を設定し、子どもたちの育成はもとより、若者たちの地域活動への参加を促し、地域に貢献



南郷文化祭



する人材発掘を行っていく必要があります。

南郷地区は、これまで全部の自治区（現在は8つの自治区）が一体となって活動し発展してきました。その過程で培われてきた財産は『南郷は一つ』という言葉に凝縮されています。その南郷地区の伝統と文化を継承していく必要があります。

## ②部会ビジョン

### ～学び高め合い伝え合うまち南郷～

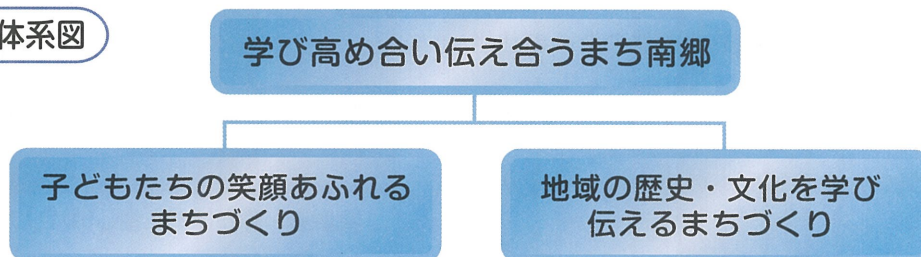
南郷地区は、南郷村当時の農村地帯から着実な発展を遂げ、人口が増加した比較的新しく形成された地域です。育った環境の違う人達が、南郷地区として思いを一つにし、ともに高め合うためには、この地域の歴史や文化、人物を学ぶことが大切です。

若者や子どもたちは、知識や経験豊富な地域の古老から学び、大人たちも子どもたちと共に学び高め合うことで、明るく活力のある未来につながる南郷地区を目指します。



小学生広場 水てっぽう作り

#### 実践体系図



## ③目標及び具体的活動

### 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり ～掛東学園活動の推進～

「地域を愛することは、地域を知ること」という言葉があります。南郷地区の将来を担う子どもたちが、地域の人・もの・ところを知ることが、南郷を愛することに通じます。まずは、地域の大人たちとの交流の場を設定し、地域の大人たちとの交流を進める中で、子どもたちに「ほくやわたしのふるさと南郷」の意識を高めていきます。そうした取り組みは『掛東学園子ども育成支援協議会』が願う子ども像、「地域の子どもや大人に進んでかわり、やさしさいっぱいの子」「地域の将来を考え、担っていくことのできる子」「地域の豊かな自然、文化、伝統、行事を大切にできる子」の育成に直結するものです。

《具体的活動》

- ①子どもと大人の交流の場づくり
- ②子どもたちが自ら担う場づくり  
・小学生広場など

### 地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり

南郷地区には、平成2年6月に「南郷地域生涯学



小学生広場 麦わら細工



習センター」が設置され、地域住民の交流の場として、また、地域文化の発信の場として今日に至っています。

また、河井弥八翁記念館、希望の丘、陣場峠、東名高速掛川インターなど様々な地域資源があります。これらを記録に残し、学び伝えていくことは、私たちの責務です。

《具体的活動》

- ①南郷文化祭
- ②地域の歴史・文化の伝承
- ③講演会等の開催



河井弥八記念館 講演会

## 第5章 防犯防災

### 安全・安心で住みよいまち南郷

#### ①地域の課題

近年多発している高齢者への不法販売や振り込め詐欺、児童や女性等への変質行為、窃盗、薬物等の犯罪が身近にも発生しており、犯罪防止の取り組みが求められています。また、異常気象による自然災害や大地震により多くの人命や財産が失われ、災害時の対応や緊急時の備えが求められています。

犯罪や災害への備えは、行政に頼るだけでなく自助・共助による自主的な活動が重要であり、安全安心なまちづくりのために欠かすことはできません。

そのためには、住民自らが防犯防災に対する知識と備えについて意識を高め情報を共有し、向こう三軒両隣がともに助け・支えあう地域の絆づくりが必要です。



防災訓練 消火活動

#### ②部会ビジョン

##### ～安全・安心で住みよいまち南郷～

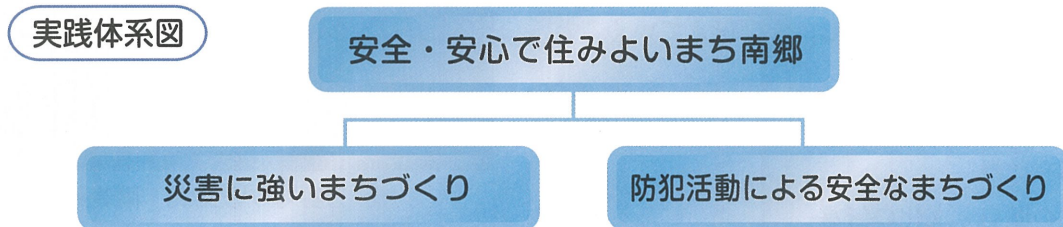
地域や家庭において、世代間のちがいでその役割が明確に表現できない昨今、住民一人ひとりのもつ温かいところが重なり合い、やがて地域に広がるよう隣近所での支え合う組織づくり、助け合いの仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。それは、防犯防災にとって、共助となって働く大切な絆です。



防災訓練 救護活動



深入りするとお節介だとか、個人情報保護法に抵触するとか、なかなかコミュニケーションが取り辛い世相の中、まずは向こう三軒両隣の隣組で、同じ地域で生活する者が日ごろから連絡、連携を保った絆づくりが防犯防災の要となります。そんな小さな隣組を南郷地区全体に築くことが、安全安心なまちづくりにつながる大切な要素です。



### ③ 目標及び具体的活動

#### 災害に強いまちづくり

地震に対して自主防災として、災害対策をしてきましたが万全ではありません。大地震が想定されたり、原発や集中豪雨、竜巻など近年の気象変化にも、防災対策を考慮する必要が生じてきました。災害の知識と備え（家具の固定や住宅の耐震化等）は自助として大切です。

南郷地区では、危険箇所や未耐震家屋、空家、一人暮らし高齢者などを記載したハザードマップや命の手帳（非常時連絡手帳）を作成することで、住民の防災や保安対策を検討します。そして、防災・減災マニュアルに基づく共助を、地区、区、組、隣組のそれぞれの役割を訓練し、被害を最小限にする取り組みを行います。

《具体的活動》

- ① 災害に対する意識の向上
- ② 災害ハザードマップと防災・減災マニュアルの作成
- ③ 命の手帳の作成

#### 防犯活動による安全なまちづくり

南郷地区においても核家族化が進み、地域での繋がりも希薄になっています。交流と連帯を保つ地域環境を築くためにも、向こう三軒両隣で声掛運動を展開し、挨拶だけでなく健康や安否を気遣い、お互いに思いやりを持って暮らす社会が防犯に最も効果的です。また、自助努力として戸締りの徹底や、自分の屋敷や周辺も清掃し、犯罪者にスキを見せない工夫も必要です。

近年の犯罪の広域性や情報化により、犯罪などとは程遠く思われていた南郷地区においても、防犯を考える必要が生じてきました。青色防犯パトロール（青パト）や街頭見守り防犯は従来通り継続しますが、人手不足ですのでボランティアを増員する必要があります。また、地区内の隅々まで目が行き届くよう、住民参加の防犯対策も工夫しなければなりません。

《具体的活動》

- ① 声かけ運動の推進
- ② 青パトの充実
- ③ 登下校の見守りの実施

## 第6章 交通安全

### 無事故・無違反で明るいまち南郷

#### ①地域の課題

私たちの住む南郷地区は、幹線道路が多く走り、交通量も年々増加しています。新しい住宅も増え、学童の通学路の整備や標識・看板の増設などが求められています。今後、ますます増加する交通量に対応する体制づくりが必要です。

#### ②部会ビジョン

##### ～無事故・無違反で明るいまち南郷～

人の生命・財産に関わる交通事故の防止に向けて、住民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、安全で安心して暮らすことのできる地域の実現を目指していかなければなりません。

交通ルールを守り、交通安全に関する教育や普及・啓発活動などを推進し、事故の無い明るいまち南郷地区を目指していきます。



交通安全県民運動街頭指導



親子交通安全キャンペーン

#### 実践体系図

### 無事故・無違反で明るいまち南郷

目配りと気配りによる  
安全なまちづくり

事故に遭わない起こさない  
まちづくり

#### ③目標及び具体的活動

##### 目配りと気配りによる安全なまちづくり

南郷地区では、登下校時の児童生徒に対して、各自治会役員やPTA役員などによる交通安全、主要交差点での街頭指導などを実施しています。夕暮れ時から夜間の交通事故を防止するため、歩行者・自転車・自動車のすべてが、明るく・目立ち・光る「ピカッと作戦」を実施していきます。

##### 《具体的活動》

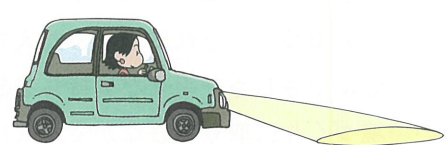
- ①児童生徒の登下校指導
- ②ピカッと作戦の推進
  - ・自発光式反射材の着用促進
  - ・早めのライトオンの励行

歩行者の方は



自発光式反射材の着用を！

ドライバーの方は



早めのライトオンで交通事故防止！



## 事故に遭わない起こさないまちづくり

交通事故に遭わない、起こさないためには、幼児から高齢者に至るまでの交通安全意識の向上を図ることが必要です。また、地域の道路・交通状況等に応じた取り組みがより重要となります。

交通に関わる危険箇所などを調べて「安全安心マップ」を作成し、また交通安全教室を開催して地域住民の事故防止に努めます。

《具体的活動》

- ①交通安全意識の向上
- ②安全安心マップの作成
- ③交通安全教室の開催
  - ・自動車、自転車シミュレーター体験など



自転車安全運転講習会

## 第7章 環境美化

### 美しい環境の安らぎのあるまち南郷

#### ①地域の課題

南郷地区は、掛川駅や東名インターに近いという利便性も加わって大きく発展してきたまちです。立地条件の良さだけでなく、住み心地の良いと感じる快適な生活環境を作ることが大切です。

ごみの分別はまだ十分ではなく、道路や空き地へのごみ捨ても見られ、まちには花が多いとはいえません。

住民の身の回りの生活環境を良くしていくことは、快適さにつながる大切な要素であり、取り組むべき課題です。



サザンセミナー「エコ活動」

#### ②部会ビジョン

##### ～美しい環境の安らぎのあるまち南郷～

住民が期待するまちの環境とは、一見して道路も公園も住宅街も清潔で美しいと感じることです。ごみの落ちていない清潔な環境や人々に潤いや安らぎを与える花のある環境づくりが大切です。

美しい環境は、それに携わった人のみならず、それを見た人の心にやさしさや幸せな気持ちを与えます。清潔で、美しい環境づくりに取り組むなかで、人に喜びや幸せ感を感じさせられるような安らぎのあるまちづくりを目指します。



学習センタークリーン作戦

## 実践体系図

### 美しい環境の安らぎのあるまち南郷

ごみゼロのまちづくり

花いっぱいのまちづくり

支え合う環境美化の  
まちづくり

### ③ 目標及び具体的活動

#### ごみゼロのまちづくり

単に、ごみを散らかさないに留まらず、ごみの分別、資源ごみの徹底回収、不用品交換やリサイクルの推進に心がけ、地球温暖化対策やCO<sub>2</sub>削減に向けて取り組んでいきます。地域が一斉に活動するごみゼロの日を設定し、子どもも含めてみんなで取り組み、ごみゼロの環境を目指します。

《具体的活動》

- ① 毎月1回 ごみゼロ運動の実施
- ② 家庭ごみ分別の一層の徹底

#### 花いっぱいのまちづくり

南郷地区には、公園が多い、緑が多い、静かであるなどの自然環境のよさがあります。一方で花と緑の明るい地域、花ロード、花いっぱいの公園などを望む声も多くあります。

「美しい地域には美しい心が宿る」ともいわれるように、更なる潤いのあるまちづくりを目指して、花いっぱい運動を推進していきます。

《具体的活動》

- ① 一家に一鉢花運動の実施
- ② 公園花壇の整備
- ③ メイン道路にプランター設置



花いっぱい運動

#### 支え合う環境美化のまちづくり

高齢者世帯や一人暮らし高齢者などの家庭で、自分では敷地内の樹木の枝払いや雑草の草刈りのできないお宅があります。温かく手を差し伸べ、枝払いや草刈りのお手伝いをし、すがすがしい環境の中で生活できる支援をしています。

《具体的活動》

- ① 高齢者世帯などへの枝払いや草刈り支援
- ② 環境パトロールマニュアルの作成と実践

## 第8章 計画の実現に向けて

人口減少や超高齢化、そして厳しい経済情勢により市の税収が減少する中で、行政だけでは大規模



災害に備えた防災や交通安全、次世代を繋ぐ子育てや環境問題、健康で安心した暮らしを守ることは困難になってきています。

そこで、地域の人たちが自分たちの住む地域を、魅力的で住みやすい地域にしていくためのネットワーク化と絆づくりを確かなものとし、効率的・広域的・発展的な地域づくりを展開していくことが必要です。そうした客観的状況を踏まえ、掛川市は平成25年4月に掛川市自治基本条例を施行し、その前文で「市民は自らの意志でまちづくりに参加し、市とともにみんなで支え合う新しい公共社会構築の必要性」が示されています。具体的には、第5章協働によるまちづくり第24条2項に「地区は、まちづくりに関する計画を策定し、その区域内における公共的課題について調整を行い、解決を図るとともに、市と連携を図りながらまちづくりを総合的に推進するものとする」と規定されています。

このため、南郷地区ではその趣旨に沿って、南郷地区まちづくり協議会を設立し、まちづくり計画を策定して協働のまちづくりをスタートさせました。

## 1 自らの地域の将来は自ら決める仕組みづくり

### ①地域で考え、行動し、実現する仕組み

まちづくり（地域づくり）や、地域課題の解決に向けては、地域のことを一番良く知っていて、地域に責任を持っている地域住民が主体となって、自らの地域の将来の姿を自ら決め、行動していきます。

### ②地域の総意を反映する仕組み

まちづくり計画の策定にあたっては、地域住民が一体となって地域の事を考えることが大切であり、そのために地域内における各種団体・組織・企業・住民が連携して進めます。

## 2 地域内分権の推進

### ①地域課題を解決するための仕組み

市民のニーズが、多様化・複雑化し、地域における諸課題が増加する中、少子高齢化による人材不足に対応するため、地域内の様々な団体・組織などとの連携による支え合いの地域運営を進めます。これからの地域運営においては、区長会・地域生涯学習センター・地区福祉協議会等の既存の組織を中心にしながらも、PTA、消防団、NPO、企業など、地域の各種団体の連携による地域力を結集した深みのある組織体制を構築し、みんなで地域課題を解決しながら、地域自らの主体的意思に基づくまちづくりを進めます。

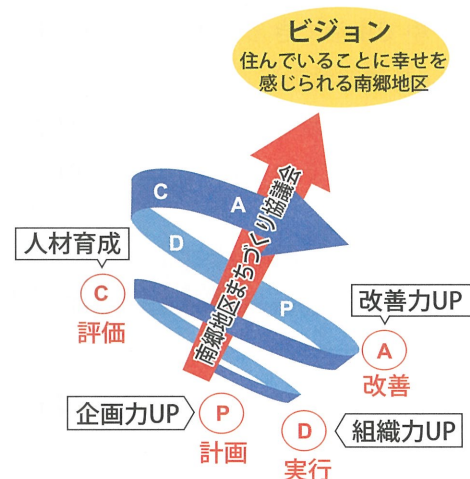
### ②個人の資質のみに頼らない仕組み

事業の継続性を図る必要から、地域全体の連携による仕組みづくりを構築することで、地域住民が地域課題や将来像を共有し、特定の個人の資質のみに頼らないまちづくりを進めます。

## 3 PDCA サイクルによる評価・改善

まちづくり計画を着実に進めるため、PDCA [Plan（計画）→Do（実行）→Check（点検・評価）→Action（修正・改善）] による計画実現サイクルを継続的に実施し、ビジョン達成を図ります。

南郷地区の新しいまちづくりは、まだ始まったばかりです。区民の一人ひとりが手を携え、思いをひとつにしてまちづくりに関わることで、私たちが目指す、住んでいることに幸せを感じられる南郷地区の実現が、より身近なものになります。



# 参考資料

---

## 参考資料

- 1 「南郷地区まちづくりアンケート」集計結果
- 2 南郷地区まちづくり協議会の設立経過
- 3 南郷地区まちづくり協議会設立準備委員会名簿
- 4 南郷地区まちづくり協議会組織図
- 5 施策体系図 ～ビジョンと実践目標～

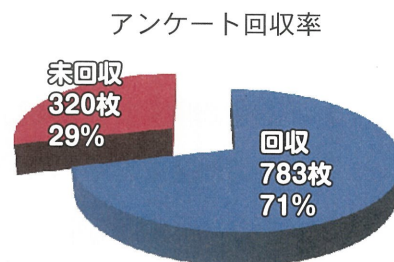


■調査の目的

「南郷地区まちづくりアンケート調査」は、南郷地区まちづくり協議会設立に際して、住民の地区に対する現状認識や地区として取り組むべき課題などをどのように考えているかを調査し、「南郷地区まちづくり計画」の策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

■調査の方法

対象者	南郷地区の戸建世帯
実施時期	平成26年10月
配布数	1,103枚
回収数	783枚
回収率	71%



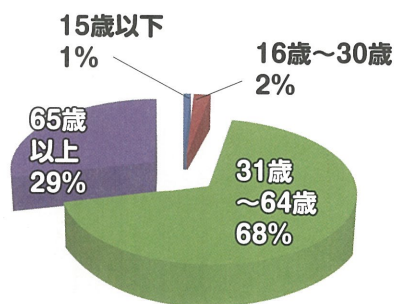
考察

南郷地区は8自治区で構成されていますが、最も高率だった自治区は90%、最も低率だった自治区は50%、平均は71%。古くからの住居者が多い5自治区は、72%~90%と高率。新しくできた自治区は50%~57%と平均を下回り、地域コミュニティに対する意識が、新・旧で分かれています。

■アンケート調査結果

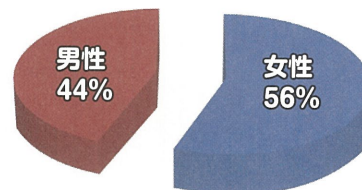
問1 年齢

年齢	人数	割合
15歳以下	7人	1%
16歳~30歳	16人	2%
31歳~64歳	535人	68%
65歳以上	225人	29%
合計	783人	100%



問2 性別

性別	人数	割合
女性	437人	56%
男性	346人	44%
合計	783人	100%

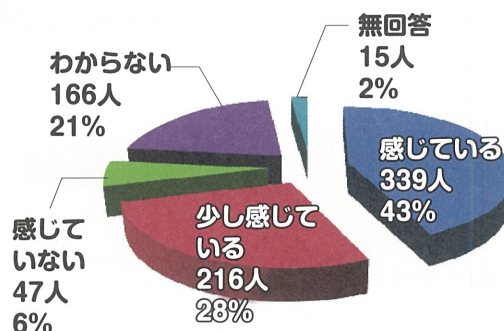


考察

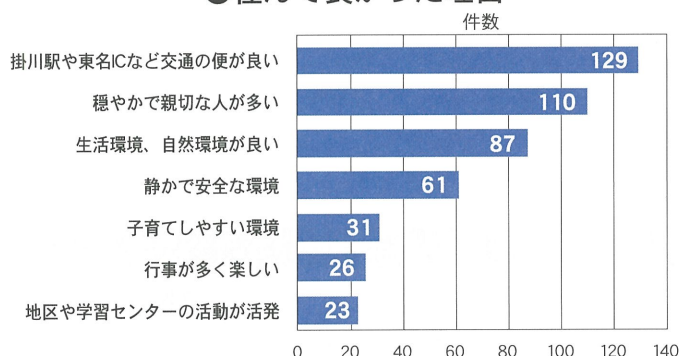
- ①回収割合が最も高かったのは、働き盛りの31歳~64歳。子育てを含む、地域環境への意識が高い。65歳以上の、高齢者についても29%と全体の約1/3を占めています。30歳以下の若い世代は3%、特に15歳以下が7人で1%あったことは、義務教育世代も関心があることが分かります。
- ②性別では、女性56%、男性44%とほぼ均衡したが、地区内における活動状況から見ても、女性の方が地域に対する意識と関心が高いことが裏づけられています。

問3 南郷地区に住んでいて良かったと感じていますか。

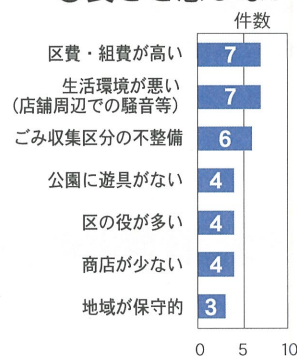
選択項目	人数	割合
感じている	339	43%
少し感じている	216	28%
感じていない	47	6%
わからない	166	21%
無回答	15	2%
合計	783	100%



●住んで良かった理由



●良さを感じない理由

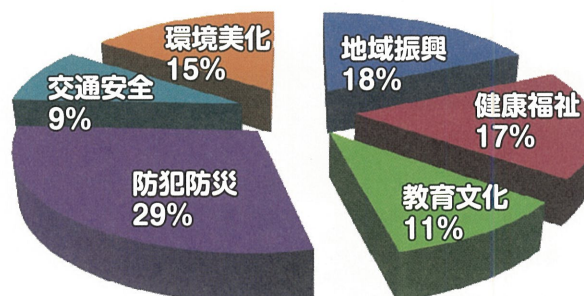


考察

南郷地区に住んでいて良かったと「感じている」と「少し感じている」を合わせると、区民の7割強の方が良かったと感じています。理由として、交通の利便性や穏やかな人柄を上げている人が多い。「良さを感じない」については、「良さを感じている」件数の約1/10と僅かですが、今後の検討課題です。

問4 南郷地区の課題・要望の分野

選択項目	件数	割合
地域振興	134	18%
健康福祉	130	17%
教育文化	81	11%
防犯防災	218	29%
交通安全	67	9%
環境美化	113	15%
合計	743	100%



(1人で複数回答あり)

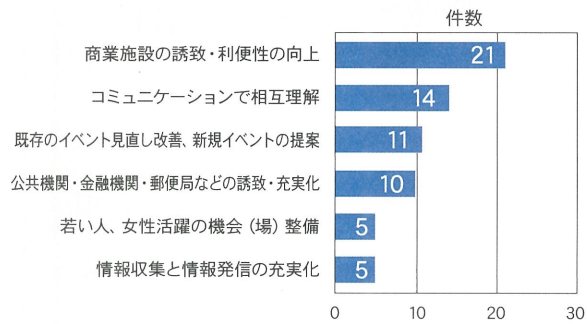
考察

南郷地区をさらに住みやすくするための課題や要望についての意見の件数を分野別に比較すると、防犯防災分野が29%と最も高く、地震・原発などへの意識や関心が高いことが分かります。今後、南郷地区まちづくり協議会としても重要課題として取り組んでいきます。地域振興や健康福祉の分野についても、18%、17%と関心が高く、より地区に根差した活動が求められています。環境美化は15%、教育文化は11%、交通安全は9%となっています。分野別の具体的な取組課題や要望などについては、次ページのグラフに示します。

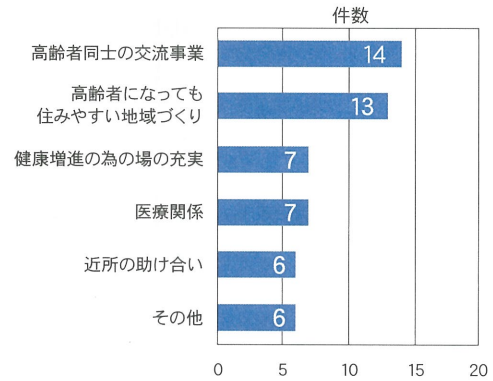


## 分野別の課題・要望項目

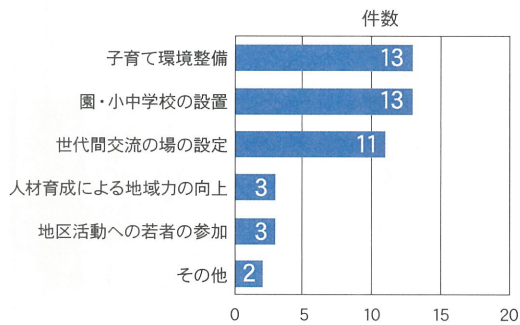
### 地域振興



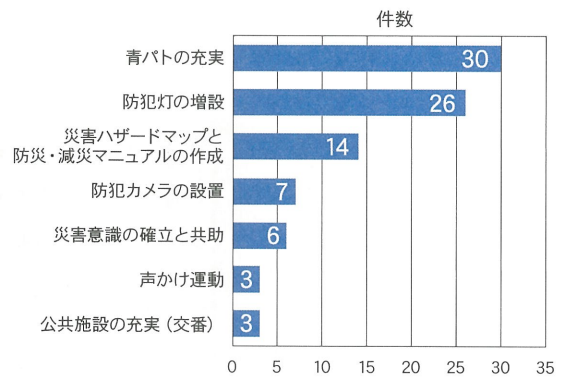
### 健康福祉



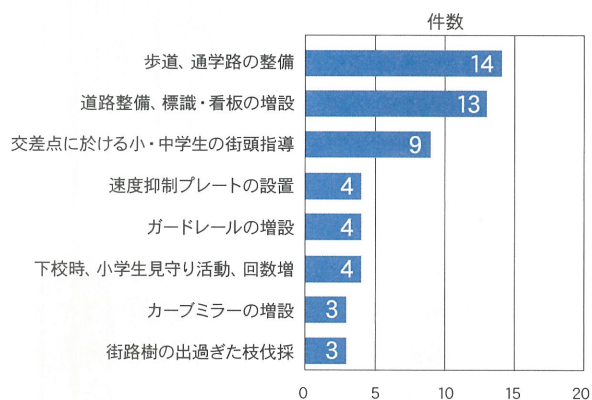
### 教育文化



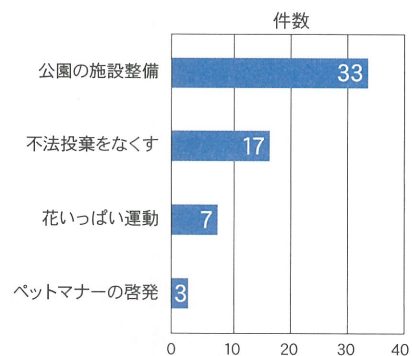
### 防犯防災



### 交通安全



### 環境美化



年	月	日	項目	内容
平成 25年	12月	24日	第1回世話人会	世話人会立ち上げの趣旨説明と承認 まちづくり協議会の設立趣旨と進め方説明 構成図、組織図、部会制の説明 設立までのタイムスケジュール
平成 26年	1月	5日	第3回南郷地区新年の集い	区長会長挨拶で、まちづくり協議会について情報提供
		26日	第2回世話人会	規約の素案検討 各部会の人員構成、事業の検討 役員交替と設立準備委員会の立ち上げ 準備委員会・協議会設立のタイムスケジュール
	2月	8日	第3回世話人会	各部会の検討状況確認 準備委員会名簿の作成 準備委員会の進め方・協議内容・準備委員予定者への依頼準備
	5月	24日	第1回設立準備委員会	掛川市自治基本条例の説明 まちづくり協働推進条例策定の説明 南郷まちづくり協議会設立の説明（世話人会報告） 設立までのタイムスケジュール説明 モデル地区ノミネートの承認
	6月	28日	第2回設立準備委員会	モデル地区指定の決定報告 牧之原市坂部地区のDVD視聴 構成図、組織図、部会制の確認 実施事業についての説明（既存、新規）
		30日	ふれあい南郷第95号への掲載	南郷地域だより「ふれあい南郷第95号」に南郷地区まちづくり協議会の組織化について紹介記事掲載
	7月	26日	第3回設立準備委員会	構成図、組織図の再確認 部会の役割分担 実施事業（既存事業の棚卸し、先進地事例、新規事業） 規約の協議
	8月	30日	第4回設立準備委員会	各部会の役員確認（部長・書記） 地域内分権の説明 部会ビジョンの策定、実施事業について継続協議 棚卸事業の再検討と課題事業の検討
	9月	14日	南郷まち協かわら版第1号発行	準備委員会の設立と取り組み状況について紹介
		27日	第5回設立準備委員会	地域内分権の説明 棚卸事業の再検討と課題事業の再検討



年	月	日	項目	内容
平成 26年	9月	27日	第5回設立準備委員会	地区の課題把握に向けたアンケート調査の実施 規約について意見集約
	10月	25日	第6回設立準備委員会	アンケートの回収結果 部会ごとの検討状況報告と今後の取扱い 規約の決定
				部会の実施事業について検討と確認 部会ビジョン・実施目標・具体的活動についての纏め 若い人+女性委員の推薦依頼 先進地の視察案内
	11月	20日	南郷まち協かわら版第2号発行	アンケート回収結果の報告
		29日	第7回設立準備委員会	部会ビジョン・部会まちづくり計画の再検討とまとめ ビジョンのイメージ図説明 アンケートのコメント事項のまとめ方
	12月	12日	先進地視察	三重県松坂市の朝見まちづくり協議会と松ヶ崎 まちづくり協議会視察 参加者34名
		23日	第8回設立準備委員会	先進地視察の感想と意見交換 部会ビジョンを含む各部会のまちづくり計画のまとめ 総会資料作成に向けた各部のビジョン作成理由と課題
	平成 27年	1月	24日	第9回設立準備委員会
28日			ふれあい南郷第96号への掲載	南郷地区まちづくり協議会の設立総会に向けて 組織構成、まちづくり計画、総会開催日の確認
2月		14日	南郷地区まちづくり協議会設立総会	まちづくり計画、規約、役員、事業計画、収支 予算の5議案を決議 記念講演：静岡大学人文社会科学部教授 日詰一幸氏 演題「協働のまちづくりが目指すもの」

※上記の準備委員会の他、各部会がそれぞれ数次にわたり協議を重ねてきました。



準備委員会でのワークショップ



三重県松坂市松ヶ崎地区視察  
山中市長「まちづくり」を熱く語る



参考資料 3

南郷地区まちづくり協議会設立準備委員会名簿

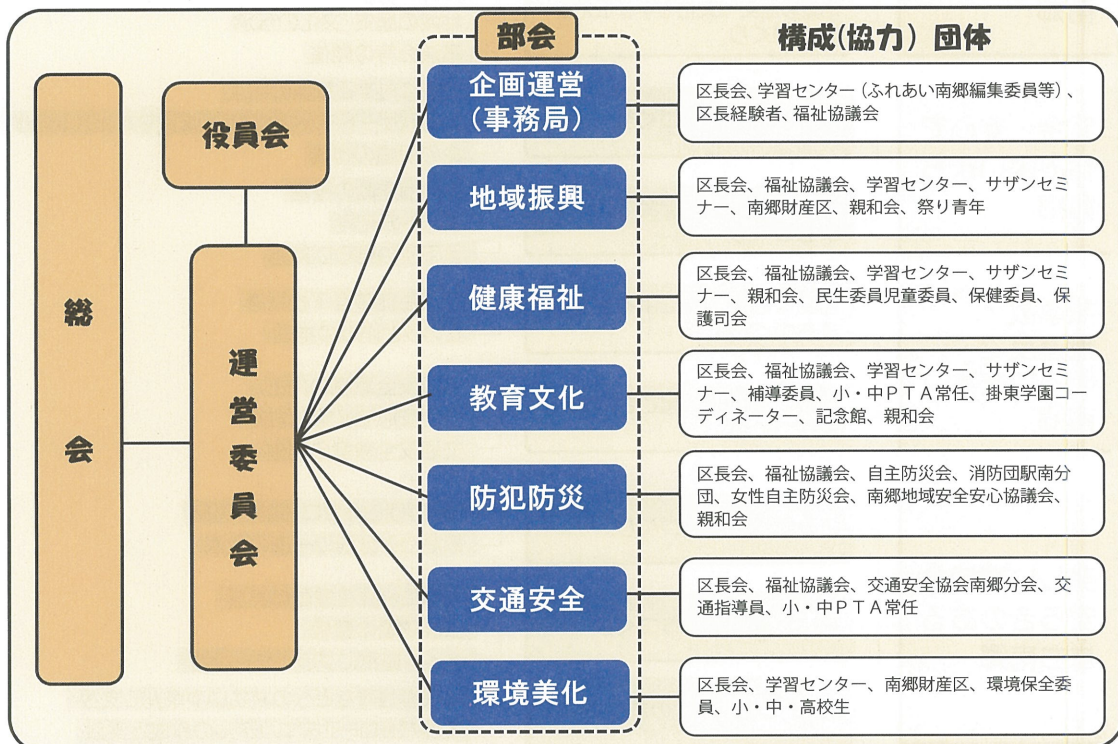
部会	氏名	
企画運営	◎ 中村隆哉 鈴木一義 守屋輝年 松下文子 杉山弘	
	梅津通男 亀井幸夫	
	地域振興	平野敏雄 高山木敏男 山下隆 原田日出志 青野広稔
	健康福祉	○ 菊池昭生 松浦勇夫 内藤文子 鈴木芳巳 中村洋子
		教育文化

部会	氏名		
防犯防災	和田芳明 堀内眞三 落合満江 大石泰史 平野豊		
	交通安全	増田基男 萩田重隆 杉山勝彦 小平勝敏 山崎雅男	
		環境美化	松尾東世 平野幸子 杉浦弘子 青山のり子 落合剛

◎印：委員長 ○印：副委員長 (順不同・敬称略)

参考資料 4

南郷地区まちづくり協議会組織図





地区ビジョン：住んでいることに幸せを感じられる南郷地区

部会	部会ビジョン	実践目標	実施事業（具体的活動）
企画運営	絆と生きがいづくりのまち南郷	豊かな情報、素早い周知のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌「ふれあい南郷」の発行</li> <li>人材を強化し「ふれあい南郷」の内容充実</li> <li>緊急性の高い情報は、随時「まちづくりかわら版」を発行</li> </ul>
		スムーズな組織運営によるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会各部会との連携強化</li> <li>まちづくりについての学習会や講演会の企画</li> <li>先進地研究や自己研鑽</li> </ul>
		達人の発掘と協力による未来につながるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材バンクの設置</li> <li>まちづくり活動への参加者拡大のためのPR</li> </ul>
地域振興	あいさつと笑顔が溢れるまち南郷	あいさつで築く明るいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつの先取り</li> <li>登下校の小中学校生にあいさつの積極的な声かけ</li> </ul>
		ふれあいの場づくりによる心豊かなまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年の集い 餅つき大会</li> <li>子ども・女性や若い世代の人たちによるイベントの企画立案</li> </ul>
		みんなで築く住みよいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>小委員会の設置</li> <li>ユニバーサルデザインの理解と推進</li> </ul>
健康福祉	健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷	いきいき健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき健康サロンの実施</li> <li>健康維持・食生活改善の啓発活動の実施</li> <li>誰でも親しめるスポーツの普及と推進</li> </ul>
		支え合う仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等気にかかる家庭への声かけ・見守り・生活支援</li> <li>福祉なんでも相談の開催</li> <li>希望の丘との交流</li> </ul>
教育文化	学び高め合い伝え合うまち南郷	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと大人の交流の場づくり</li> <li>子どもたちが自ら担う場づくり</li> </ul>
		地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>南郷文化祭</li> <li>地域の歴史・文化の伝承</li> <li>講演会等の開催</li> </ul>
防犯防災	安全・安心で住みよいまち南郷	災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に対する意識の向上</li> <li>災害ハザードマップと防災・減災マニュアルの作成</li> <li>命の手帳の作成</li> </ul>
		防犯活動による安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>声かけ運動の推進</li> <li>青バトの充実</li> <li>登下校の見守り実施</li> </ul>
交通安全	無事故・無違反で明るいまち南郷	目配りと気配りによる安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の登下校指導</li> <li>ピカッと作戦の推進</li> </ul>
		事故に遭わない起こさないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全意識の向上</li> <li>安全安心マップの作成</li> <li>交通安全教室の開催</li> </ul>
環境美化	美しい環境の安らぎのあるまち南郷	ごみゼロのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回ごみゼロ運動の実施</li> <li>家庭ごみ分別の一層の徹底</li> </ul>
		花いっぱいのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>一家に一鉢花運動の実施</li> <li>公園花壇の整備</li> <li>メイン道路にプランター設置</li> </ul>
		支え合う環境美化のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者世帯などへの枝払いや草刈り支援</li> <li>環境パトロールマニュアルの作成と実践</li> </ul>

# 南郷地区まちづくり協議会

Nangou area master plan

---

～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～

発行日：平成27年2月14日 暫定版

平成27年4月1日 第1版

編集・発行：南郷地区まちづくり協議会

〒436-0022 静岡県掛川市上張192番地の1

TEL&FAX 0537-23-0324

Eメール nangou@pub.kakegawa-net.jp



# 南郷地区のまちづくり



Think globally, Act locally!

(広い視野で考え、地域づくりを進めよう)

できることから楽しく始めましょう!